



# 駒澤会だより

第8号

(2007年8月1日)

駒澤大学駒澤会発行

## CONTENTS

- P1 平成19年度委員総会  
駒澤会 HP スタート  
行事予定
- P2~3 奨学金・授与式  
奨学金受給生の言葉  
会員往来
- P4~6  
行事報告～  
初夏の親睦会報告  
編集後記・お知らせ

## 平成19年度委員総会

去る5月19日(土)、今回は会場を深沢校舎に移し、気分を新たに平成19年度駒澤会委員総会が開催され、無事終了した。

今回の総会は決算報告・各部の活動報告等例年通りの議題に、重要案件として基金の運用方法が提案された。従来基金運用については、リスクが基本的なスタンスであったが、投資信託の運用が可能となった。従来の基金運用より高いリスクが伴うので、基金運用担当者の慎重且つ高度な判断を期待したい。

引き続き懇親会は深沢校舎内の洋館大ホールで開催された。名誉会長大谷哲夫先生、名誉副会長 高橋正弘事務局長、そして教育後援会からは高塚雄次会長が出席され、今後の駒澤会の会員増強と会員相互の親睦に関して応援していきたい旨のお言葉をいただいた。

今回も40人余りが集まり、深沢校舎の庭園を前にしながら会話に花が咲いた。今後も新入会員の出席が増え、駒澤会の活動が一層盛んになることを切に願っている。

新島泰宏

### 行事予定

- 9月29日(土)～30日(日)  
秋の一泊研修会(箱根)
- 10月15日(月)  
第125回開校記念日
- 11月24日(土)  
駒澤会忘年会



← 法科大学院



大学ホームページに「駒澤会専用ページ」が誕生しました！！

大学概要、在校生教職員→後援、又は同窓生の方からご覧いただけます。

<http://www.komazawa-u.ac.jp>

## 奨学金

平成19年度駒澤会奨学金応募受付が253名の応募者がありました。500万円（一人20万円を25名の学生へ）が7月に支給され、今年も在校生支援という重要な活動をする事ができましたことをご報告いたします。また本年度は駒澤会の活動を周知し、入会者を一人でも多く募る目的から、磯田会長が奨学金授与式へ出席させていただき、この様子を撮影し、学園通信等へ紹介させていただくことになりました。

## 奨学金授与式

平成19年7月20日（金）16:20～ 本部棟5階会議室にて

この日、吉津宜英学生部長を学長代理とし、本部棟5階会議室において、奨学金受給学生の授与式が挙行されました。

駒澤会からは磯田会長と井上副会長が出席。選考会を経た25名の学生が、駒澤会奨学金によって今後も充実した学生生活を送りながら勉学に励み、また、卒業後も駒澤大学での知識や経験を生かしてくれることを切に願っています。



## 受給生の言葉



### 「駒澤会奨学金受給生という誇りを持って」 経営学部 平石朋子

この度は、駒澤大学駒澤会奨学生に選んでいただきありがとうございます。大変光栄に感じております。

私が初めて駒澤会の奨学金制度を知ったのは、大学受験のために取り寄せた大学案内のパンフレットでした。給付型の奨学金制度である駒澤会に興味を抱いたものの、どういった方からの寄付金で成り立っている奨学金か、というところまでは理解していませんでした。それでも勉強を頑張れば受給の可能性がと思い、駒澤大学で学び、そして駒澤会の奨学生になる目標を持つようになりました。

なぜ奨学生を目指したかと言うと、私自身が二度の大学受験を経験し、弟の大学受験も後に控えていたからです。また、地方から上京したことも理由の一つです。自宅外生であれば、親からの仕送りに頼らざるを得ない身で、学費以外にも金銭的援助をしてもらわなければならないことは普通のことかもしれません。しかし、私が奨学生になることで両親の経済的負担が少しでも軽減できるなら、奨学生を目指してみようと考えました。

私が奨学生に選ばれる確率は、ほとんど0パーセントに近いと思っていました。中学校でも高校でも、成績は中の中。自慢じゃないけど、平均レベルの脳みそしか持ち合わせていないと納得していたからです。ですから、学部生の多くが応募する駒澤会奨学生の、たったの25名に選ばれるとは思ってもみませんでした。

入学前からの目標であった奨学生になった今感じることは、駒澤会是一种の自信です。私は自信をいただいたと思っています。これと言って取り得がなく、サークル活動に参加するわけでもなく、毎日が大学と家の往復でした。そんな変化のない大学生活に変化を与えてくださったのが駒澤会です。勉強や就職活動で弱気になった時、奨学生になれたという喜びを思い出すようにしています。この不可能を可能に変えた出来事を忘れません。

最後になりましたが、私たち奨学生を支え、応援していただきありがとうございます。感謝の気持ちでいっぱいです。これからも駒澤会奨学生として多くの学生が奨学金を受給させていただくと思います。一人でも多くの学生が奨学金を手にし、いただいた奨学金を使って前向きな姿勢で何事にも取り組んでいけるよう、見守り、そして応援していただきたいと思っています。



## 「学生の支えとなる奨学金であることを願って」 社会学科 鈴木和也

この度、駒澤大学駒澤会奨学生に選んで頂いた事を大変光栄に感じております。  
私は大学入学当初から、学生生活における出費の多さに不安を感じておりました。入学金や授業料をはじめ費用のかかる場面は多く、家計への負担は増すばかりで、奨学金に関する情報を色々と集めていました。そんな中、学生部で駒澤会奨学金の存在を知り、少しでも学費の足しになればと思い、応募させて頂くことにしました。奨学生採用の通知を受けたときは、今までがんばって勉強してきたことが報われた様な気持ちになりました。

私は現在、博物館学芸員の資格取得を目指し、駒澤大学の博物館学の講座を受講しています。以前から美術館を訪れるのが好きで、学芸員という職業にとっても興味がありました。博物館学の講義では、情報論や経営論を学び、博物館が果たすべき役割や、現在置かれている厳しい状況などについて知ることができました。また、博物館での館務実習や資料収集実習では、博物館業務に携わるという貴重な経験をしました。その上多くの人々と出会うことができ、良い刺激になりました。

また、3年次からは都市社会学の先生のゼミに所属していますが、卒業論文は博物館や美術館と絡めて、国際的な視点から見た文化政策というものをテーマにして研究をしたいと思っております。日本の文化政策の特徴や、それが抱えている問題点などを明らかにし、アメリカやフランスが行っている文化政策と比較しながら、日本の政策の改善点を考えていきたいと思っています。

資格取得や授業にかかる費用はばかになりませんが、このようなことができるのも、駒澤会奨学金の支えがあったことだと思います。今後もこの奨学金制度が、勉学や研究に励む学生たちの支えとなっていくことを期待します。これから感謝の気持ちを忘れずに、有意義な学生生活を送っていききたいと思っております。本当に有難うございました。

## 「会員往来」

早いもので駒澤会だよりを発刊してから3年余が経ちます。

平成16年は駒澤大学駒澤会も創立以来30と数年を経とうとしている時でした。私達が入会の当時(平成7年)駒澤会は発会以来資金集めや会員親睦にご苦労なされ、創立20年をお祝したメンバーが(創立当時をご存知の方も含めて)2、30名もお元気に活躍でした。その様な中で長い間に会の為ご奉仕いただいた方が1人2人と旅行や役員会にも見えなくなり、お電話を差し上げてもご病気等の方もおられるので、何とか今の駒澤会の様子を御知らせしたい事と現会員の親睦と活躍を期待して、駒澤会通信也、だより也、を作ろうと云う話はその2、3年程前から出ていましたが、なかなか実現しないままでした。

大学はその前年に創立120年を迎え様々な行事が行われていました。

そんな折、会の発足から会計監査だけでなく会の発展に尽くされた方が亡くなり、続けて副会長をなさった方、その前年の5月まで会計監査でご活躍いただいた方と会にとって大切な方が相次いで亡くなりました。その事を皆様にお知らせしたく、又駒澤会も会則、役員会、春、秋の研修旅行と内容もかなり充実してきた中、会の発表の場として、是非とも作ろうという動きになりました。そして「駒澤会だより」として、事務局の協力を得て担当を広報部とし、私がお手伝いさせていただき細々と実現の運びをみたのでした。発刊以来回を重ねる度内容も充実ページも増えて大学の学長先生、総長先生の協力も得られて、ますます発展して行くものと確信しております。

今回も皆々様の協力と事務局の多大な応援で10号を発刊する事ができました、今後も少しでも駒澤会の発展にお役に立てたらと、田中部長を先頭に明るい広報部員は頑張ってます。「会員往来」では皆様の日頃感じられた事、駒澤応援など何かありましたらお寄せいただいで記載していきたいと思っております。

高見静子

19.1.13

新年賀詞交歓会

東京全日空ホテル プロミネンスにて



本学卒業生マジシャン 芸名なか。たつやさん

教育後援会篠田会長のご挨拶、池田学長先生・駒澤会磯田会長をはじめご来賓の皆様からご挨拶のあと、宮本理事長の乾杯のご発声で、歓談の時間が始まりました。

今年には会の途中でマジックショーがあり、卒業生でマジシャンの「なか。たつや」氏による楽しくも巧みな手さばきに、会場のあちらこちらで笑い声が興っていました。

会も終わりに近づき、福引抽選会が始まると、壇上に注目が集まり、読み上げる番号に歓声を上げるグループや満面笑みで賞品をもらってくる方など、楽しい抽選会のあと、終宴を迎えました。

最後になりますが、一年の幕開けにふさわしい賀詞交歓会を催して頂いた皆様に感謝申し上げますと共に、更に参加者が増えて、大学・教育後援会・駒澤会が発展する事を望みたいと思います。 記 井上俊夫

<<< 駒澤会特別賞に当選された清水教務部長から旅行記が届きました >>>

癒しの山里 ー四万温泉ー

6月の週末、妻と二人で、以前から一度は訪れたいと思っていた群馬県の四万温泉に行ってきました。教育後援会の新年賀詞交換会でいただいた旅行券を活かす機会がなかなかとれず困っていたのですが、漸く2日間の休日がとれ、日頃の疲れを癒すことができました。

四万温泉は、政府が定めた第1号の国民保養温泉地で、他に通じる幹線交通路もない、山奥のひなびた温泉郷です。

旅行代理店に頼んで、谷川の水音以外には何も聞こえないひなびた宿を紹介してもらいました。

当日はあいにくの小雨模様でしたが、閑越にのり、2時間半で宿に到着。娯楽施設は何も無い古式風呂と露天風呂、そして地元産の食材による穏やかな食事に誇りを持つ伝統的旅館でした。過剰なものは何も無く、不足なものも何も無い満ち足りたひと時を過ごすことができました。雨に洗われた溪谷の緑の中で、生気を回復することができました。有難うございました。(清水卓)

198.12.8

厚生部忘年会

渋谷「花子の家」

ゲストに大谷総長をお招きしました。今後も厚生部の結束を深めていくこと、また会員の皆様に喜んでいただける企画を用意していくことで、部員一同和やかに過ごすことができました。

19.1.31

吹奏楽部金賞祝賀

赤坂プリンスホテル クリスタルパレス

第54回全日本吹奏楽コンクールにおいて金賞を受賞した吹奏楽部。3年連続の輝かしい記録となりました。駒澤会からも多くの出席者がありました。開演と同時に繰り広げられたドリルはいつもながら大盛況でした。現在部員数87名、夏期休暇中は米沢市・茨城県・上田市など地方でコンサート活動とのこと。

19.2.3

広報部新年会

二子玉川「やなぎや」

大谷名誉会長、池田名誉副会長をお招きし、出席者 19 名で開催されました。お二人と直接お話しできる機会がもてましたこと、また今後の駒澤会に対しご理解あるお言葉をいただき、広報部一同大変うれしく思います。スタートした駒澤会専用ホームページや学園通信への記事掲載など今後も新たな展開を模索していきたいと思います。

広報部

19.2.28

玉川校舎第1体育館落慶式

午前 10 時開式 玉川第 1 体育館

開校 120 周年記念事業の一環として建設が進められてまいりました。地上 4 階地下 1 階の施設には学生にとって学びやすく、利用しやすい設備が整い、今後の授業や運動部の活動に期待がかかります。

地下 1 階：柔道場、剣道場、空手道場、師範室、更衣室、用具・機械室

1 階：エントランス、更衣室、シャワー室、トイレ

2 階：アリーナ、用具庫、ミーティングルーム

3 階：ミーティングルーム、観覧席

4 階：洗濯コーナー



19.3.10

報告

深沢校舎において、ボクシング部により片山晴賢先生の苦小牧大学学長就任祝賀会と、同じくボクシング部指導をされている広報部 村野常夫さんの喜寿 (77 歳) のお祝いがありました。駒澤会からは会長はじめ副会長 3 名他役員が出席。お二人への感謝と今後のご活躍を祈念した会となりました。

19.3.25

卒業式

駒澤会からは磯田会長が出席で、卒業式が執り行われました。あいにく朝から雨模様の日でしたが、学内は駆けつけた在校生やたくさんのご家族でうまりました。最近卒業生一人に対し、祖父母や兄弟の出席が多くなり、体育館だけでは入場しきれず、大型スクリーンを用意した教室にも着席をお願いしているそうです。また、式場には駒澤会から送られた生花が飾られ、総勢 3,447 名の卒業生を送り出しました。



19.4.2

入学式

新設学科「現代応用経済学科」のスタートの年となり、約 4,290 名の新入生を向かえ、入学式が執り行われました。駒澤会からは磯田会長が出席。

19.5.18

竹友寮落慶式

深沢 2 丁目に竹友寮が新築されました。(アイソトープ本学旧駐車場跡地) 旧竹友寮は取り壊され、本学周辺整備の一環として跡地は公園へ通じる道路となります。

鉄筋コンクリート 3 階建て、  
地下 1 階＝法堂・坐禅堂・導師控室  
1 階＝ミーティングルーム・食堂・浴所  
2 階・3 階＝寮室・洗面所・東司



## 初夏の親睦会

平成 19 年 6 月 9 日(土) 東京湾ディナークルーズ 19:00~21:40

平成 19 年 6 月 9 日(土) 駒澤会恒例の初夏の親睦会が開催されました。

今回は、フランス料理のコースをいただきながら、東京湾をクルージングという企画でした。しかし、当日の東京地方の天気予報は大雨！厚生部員一同祈るような気持ちでこの日を迎えたのですが、心配していた雨も殆ど降らず、33名の会員を乗せて定刻通り午後7時に船(シンフォニー)が出航しました。

大学側から駒澤会名誉会長[大谷総長先生]、駒澤会名誉副会長[池田学長先生]、そして駒澤会参与・教育後援会[谷山副会長]、のご参加をいただき、緊張の中にも和やかな雰囲気の中で親睦会が始まりました。

澤畑副会長の開会のご挨拶の後、磯田会長、大谷総長先生からご挨拶をいただき、池田学長先生の乾杯のご挨拶で、宴が始まりました。

美味しいお料理に舌鼓を打ちながら、漂うように流れる夜景に目を移すと、昼間のような東京の景色に、「眠らない街」というどこかで聞いたフレーズが頭に浮かび、だからこそ時にはこんな風に都会の喧騒から離れて、ゆっくりとお食事をする時間も必要なのではないかと思いました。今回の企画が多忙な皆様の癒しとリフレッシュに少しでも役立つことを祈らずにはいられませんでした。

メインディッシュを頂く頃、駒澤大学教育後援会谷山副会長からご挨拶を頂き、続いて新入会員のご紹介に移りました。今回京都からご参加の西寺さん、福岡さんご夫妻、和田さん、木村さんに自己紹介をして頂きました。会員の皆様からは歓迎の暖かい拍手が贈られ、心温まる瞬間でした。

お食事が済んでお茶の頃になると、デッキに出て夜景を楽しむ方、船内を散策される方、カラオケに興じる方、皆様それぞれの楽しみ方をされていましたが、2時間40分という時間はあっという間に過ぎてしまいました。宴の最後に恒例の「青い山脈」を全員で大合唱して、赤堀副会長から閉会のご挨拶を頂き「平成19年度駒澤会初夏の親睦会」を終了しました。

最後に今回の企画に際し、ご協力いただいた駒澤会執行部・役員の方々をはじめ、事務局の唐澤さん、そしてご参加いただきました皆様に心から感謝申し上げて、初夏の親睦会の報告とさせていただきます。ありがとうございました。 厚生部副部長 田邊隆子



### 秋の一泊研修会のご案内

今年は新宿から1時間半の箱根湯本にある「箱根パークス吉野」へご案内します。雄大な自然と歴史・芸術の街

「箱根」で湯煙たなびく温泉に浸かりくつろぎのひと時をお楽しみ下さい。澄んだ空気の中、須雲川のせせらぎをバックに、大谷総長先生の研修に耳を傾けてみませんか？ 皆様の参加を心よりお待ちしております。

日 程：9月29日(土)～30日(日)

場 所：ホテル「箱根パークス吉野」(小田急線箱根湯本下車・ホテル間巡回バス) 詳細は別紙をご覧ください。

### 編集後記

太陽の光も眩しく、木々の緑も心に染み入る季節になりました。昨今、王子という言葉がよく聞かれます。ハンカチ王子・ハニカミ王子・・・でも駒苦のマー君には王子という言葉は付きません。繊細さとシャープさを漂わすその言葉には、彼の力強い土の匂いのする逞しさには合わないのかもしれませんが、でも王子と呼ばれたい・・・こんなミーハーな私も広報部に入って何年か経ち、部の仲間たちと毎回駒澤会だよりを作成するに当たり、親しみや楽しさが深まってきました。駒澤会ではいろいろ楽しい行事を計画したり、奨学金やホームページ等真剣に試行錯誤し推し進めております。今回の号でも分かりやすくお知らせできたものと自負しておりますが、如何でしょうか。また、会員の方々がお見えになることを心待ちにしております。

藤田久子

総務部部长・副部长交代のお知らせ

次の通り交代となりました。

部 長：山田春雄

副部长：山出恵治・三崎章子(継続)

駒澤会だより 第8号

発行日：平成19年8月1日

発行所：駒澤大学駒澤会広報部

世田谷区駒沢 1-23-1